



Oracle® Hyperion Calculation Manager

リリース 11.1.2.3.000

Readme

ORACLE
ENTERPRISE PERFORMANCE
MANAGEMENT SYSTEM

目次

目的	2
このリリースでの新機能	2
インストール情報	2
Oracle Hyperion Business Rules アーティファクトの Calculation Manager への移行	2
サポートされているプラットフォーム	2
サポートされている言語	3
サポートされているこのリリースへのパス	3
このリリースで修正された問題	4
既知の問題	7
ヒントとトラブルシューティング	10
ドキュメントの更新事項	10
ドキュメントのフィードバック	11
アクセシビリティの考慮事項	11

目的

このドキュメントには、このリリースの Oracle Hyperion Calculation Manager に関する重要な最新情報が含まれています。Calculation Manager をインストールする前にこの Readme をよくお読みください。

このリリースでの新機能

Oracle Calculation Manager 新機能ガイドを参照してください。このリリースのインストール、アーキテクチャおよび配置の変更に関連する新機能の詳細は、Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Readme の新機能に関する項を参照してください。

インストール情報

Oracle Enterprise Performance Management System 製品のインストールの最新情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Readme に記載されています。EPM System 製品をインストールする前に、この情報をよく確認してください。

Oracle Hyperion Business Rules アーティファクトの Calculation Manager への移行

Oracle Hyperion Business Rules はもう使用できないため、メンテナンス・リリースの適用またはリリース 11.1.2.3 へのアップグレードを行う際、旧リリースの Business Rules を使用していた場合、リリース 11.1.2.3 の Calculation Manager ルールに移行する必要があります。Calculation Manager ルールにビジネス・ルールを正常に移行するためにインストールおよび構成の前に完了する必要がある前提条件は、Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Guide の Business Rules メンテナンス・リリースおよびアップグレード・インストールの前提条件に関する項を参照してください。

サポートされているプラットフォーム

EPM System 製品のシステム要件およびサポートされているプラットフォームに関する情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix でスプレッドシート形式で提供されるようになりました。このマトリックスは、OTN の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに記載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされている言語

EPM System 製品のサポートされている言語に関する情報は、Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix の翻訳サポートタブにスプレッドシート形式で提供されます。このマトリックスは、OTN の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに掲載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされているこのリリースへのパス

EPM System は、次のリリースからリリース 11.1.2.3 にアップグレードできます:

注意: アップグレードの手順は、Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Guide の EPM System 製品のアップグレードに関する項を参照してください。

表 1 表

アップグレード・パスのリリース: 元	リリース 11.1.2.3 へ
リリース 11.1.2.x	メンテナンス・リリースを適用してリリース 11.1.2.3 にします。 Oracle Hyperion Financial Close Management では、メンテナンス・リリースの適用はリリース 11.1.2.1 および 11.1.2.2 からのみサポートされています。
リリース 11.1.1.4.x	リリース 11.1.2.3 にアップグレードします。
リリース 11.1.1.0.x から 11.1.1.3.x	メンテナンス・リリースを適用してリリース 11.1.1.4 にし、リリース 11.1.2.3 にアップグレードします。
リリース 9.3.3.x	リリース 11.1.2.2 にアップグレードし、メンテナンス・リリースを適用してリリース 11.1.2.3 にします。
複数のリリースが含まれている環境。1 つの Oracle Hyperion Shared Services のインスタンスが含まれている環境、または 2 つの Shared Services のインスタンスが含まれている環境	Oracle Enterprise Performance Management System Installation and Configuration Guide の EPM システム製品のアップグレードの章に記載されている、複数リリース環境からのアップグレードに関する項を参照してください。

注意: リリース 9.2.0.3+、9.3.0.x、9.3.1.x(Oracle Essbase 9.3.1.4.1、9.3.1.5、9.3.1.6 および 9.3.1.7 を除く)、または 11.1.1.x から開始する場合、まずリリース 11.1.1.3 にアップグレードし、メンテナンス・リリースを適用してリリース 11.1.1.4 にしてからリリース 11.1.2.3 にアップグレードすることをお勧めします。その前のリリースから開始している場合、開始リリースからのアップグレードを直接サポートする最上位リリースにアップグレードすることをお勧めします。

Essbase と Shared Services との間のセキュリティの同期は、リリース 9.3.1.4.1 以降の Essbase リリース 9.3 では削除されていました。ただし、Essbase および Shared Services リリース 11.1.1.3 では、セキュリティ情報は同期されます。この理由で、Essbase リリース 9.3.1.4.1、9.3.1.5、9.3.1.6 または 9.3.1.7 を使用する場合、まずリ

リリース 9.3.3 にすべての製品をアップグレードしてから、リリース 11.1.2.2 にアップグレードし、メンテナンス・リリースを適用してリリース 11.1.2.3 にする必要があります。

このリリースで修正された問題

この項には、リリース 11.1.2.3.000 で修正された不具合が含まれます。以前のリリース間で修正された不具合のリストを確認するには、Defects Fixed Finder を使用します。このツールでは、ユーザーが所有する製品と現在の実装リリースが識別されます。1回のクリックで、修正された不具合の説明とこれに関連するプラットフォームおよびパッチ番号が含まれた、カスタマイズされたレポートがツールによってただちに生成されます。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1292603.1>

- 16432724 -- Essbase の関数にショート名(@IDESCENDANTS のかわりの@IDESC など)を使用すると、検証エラーになることがあります。
- 14697437 -- 設計時プロンプトは、アプリケーションによって使用されているアプリケーション・タイプを判別するために Calculation Manager で使用できません。
- 12973638 -- [Ctrl]+[F3]が次を検索として機能しない場合があります。これを回避するには、メニューの「編集」とメニュー・オプションの「次を検索」を使用します。
- 13655734 -- スクリプト・コンポーネントで、マウス・ポインタが表示されないことがあります。これを回避するには、マウスの左ボタンをクリックしてマウス・ポインタを表示します。
- 13698783 -- Oracle Hyperion Financial Management のビジネス・ルールの検証中に、配置が正常終了していても、検証エラーが生成されることがあります。
- 11700639 -- Oracle Hyperion EPM Architect または Planning アプリケーション管理を使用して Workforce Planning、Capital Expense Planning、Public Sector Budgeting、または Oracle Hyperion Planning アプリケーションを作成する場合、アプリケーションの作成が失敗し、コンテンツは Prolog で許可されていませんというエラー・メッセージが表示されることがあります。これを回避するには、アプリケーションを作成する前に Calculation Manager に移動し、Planning のアプリケーション・ノードを展開またはリフレッシュします。
- 13683860 -- 新しく拡張されたセル・テキスト関数を使用する、Financial Management のビジネス・ルールを使用している場合、ビジネス・ルールのスクリプトを表示したり、配置しようとする、エラーを受け取ることがあります。
- 13542780 -- Financial Management のビジネス・ルールを使用していて、そのビジネス・ルールのスクリプトを表示しようとする場合、ユーザー定義の関数をビジネス・ルールの Expression 関数の一部として使用していると、エラーを受け取る可能性があります。
- 13800000 -- Internet Explorer 9 ブラウザで、カスタム・テンプレートの「DTP」タイプ・フィールドに DTP タイプを表示できますが、タイプを選択できない

ことがあります。これを回避するには、「DTP」タイプ・フィールドをダブルクリックして、タイプを選択します。

- 13683860 -- 新しく拡張されたセル・テキスト関数を使用する **Financial Management** のビジネス・ルールを使用している場合、ビジネス・ルールのスクリプトを表示したり、配置しようとする、エラーになることがあります
- 13619510 -- 配列のある関数が含まれている **Financial Management** のビジネス・ルールを使用している場合、ルールのスクリプトの表示や配置を実行しようすると、配列が単純変数として扱われることがあります。
- 14249859 -- **Calculation Manager** は、RUNJAVA コマンドの実行時プロンプトおよび関数を解析できるはずですが。
- 14029629 -- ビジネス・ルールで@MDALLOCATE 関数を使用する場合、検証エラーが発生することがあります。
- 14029619 -- 配置されていないビジネス・ルールに「配置済」ステータスが表示されることがあります。
- 14306216 -- パーセント・タイプ変数の検証値を入力すると、数値型の変数として表示されます。
- 14306196 -- 数値、パーセント、整数、DateAsNumber および StringAsNumber の変数タイプを使用するビジネス・ルールでは、検証値として#Missing を入力でき、エラー・メッセージは表示されないはずですが。現在は、次のエラーを受け取るのは: 「入力された値#Missing は有効な数字ではありません。適切な数字を入力してください。」、これらの変数で#Missing を使用した場合です。
- 13542780 -- スクリプトの式でユーザー定義関数を使用している場合、スクリプトを表示しようすると、エラーが表示されることがあります。たとえば、@Function = 3 + @UserDefinedFunction を使用している場合、スクリプトを表示できません。@Function = @UserDefinedFunction + 3 を使用している場合、スクリプトを表示しようすると、エラー・メッセージが表示されることがあります。
- 14303412 -- #MISSING チェック・ボックスを選択すると、値として#MISSING を入力できない場合があります。
- 14333061 -- 関数@MBRPARENT、@BETWEEN、@EQUAL、@EXPAND、@LIKE、@MBRCOMPARE、@NOTEQUAL および@TODAY は **Calculation Manager** でサポートされていません。
- 14319386 -- 検索/置換機能で、設計時プロンプトの条件を検索できないことができます。
- 14318475 -- 関数@ISACCTYPE が **Calculation Manager** で検証されないことがあります。
- 14344859 -- **Internet Explorer 9** では、標準モード、コメントおよびコメント機能が一貫して動作しない可能性があります。
- 14350747 -- ユーザー定義関数を使用してスクリプトを作成すると、ユーザー定義関数の一部が **Calculation Manager** でサポートされず、検証エラーが発生することがあります。

- 11784731 -- Financial Management のビジネス・ルールを使用していて、そのビジネス・ルールのスクリプトを表示しようとする、メンバー・リストが OpenDataUnit の引数の一部である場合、エラーが発生する可能性があります。
- 13804703 -- Business Rules から Calculation Manager へのルールの移行でコメントが失われることがあります。
- 14347952 -- Oracle Hyperion Enterprise Performance Management System ライフサイクル管理から存在しない Planning アプリケーションに対するルールをエクスポートすると、インポート時にエラーが発生することがあります。
- 14355073 -- ルールは、StringAsNumber 変数を含む場合、検証されないことがあります。
- 14462588 -- Financial Management スクリプト・オブジェクトで、変更を加えてオブジェクトを閉じる場合、「保存」を選択すると、エラーが発生することがあります。
- 14499615 -- Financial Management ルールで、スクリプト・モードで条件コンポーネントに変更を行い、グラフィカルに変換すると、文字列から二重引用符が削除されることがあります。
- 14581979 -- Oracle Hyperion EPM Architect Oracle Hyperion Planning アプリケーションを配置すると、メンバー式に関連するエラーが発生することがあります。
- 14587752 -- 日本語で、SET コマンド・テンプレートの説明の一部が重なります。
- 14647534 -- スクリプトからグラフィカルにルールを変換すると、カッコが削除されることがあります。
- 14685895 -- Business Rules から Calculation Manager へマクロを移行した場合、Calculation Manager でスクリプトを表示できない場合があります。
- 14733813 -- 中国語で、Oracle Hyperion Enterprise Performance Management System ライフサイクル管理の「Calculation Manager/ Consolidation」を展開すると、エラー「アプリケーション・アーティファクト・リストのメタデータを処理できません。」が表示されることがあります。
- 14738362 -- Hyperion Financial Management ルールで、スクリプト・モードでルールに変更を加えてからグラフィカルに変換した場合、式の二重引用符が削除されることがあります。
- 14763674 -- 変数を使用したルールを含むルールセットでは、変数の値列は入力するまで空であるはずですが、入力値が削除された場合も空のままです。
- 15898295 -- Financial Management で、配置されたルールが「未配置」と表示されることがあります。
- 15923011 -- @member 関数が関数セクタから欠落しています。
- 15957701 -- 11.1.2.1 から 11.1.2.2 へのアップグレード後、Calculation Manager でルールを検証すると、ハングすることがあります。
- 15979498 -- Secure Sockets Layer (SSL)に対して有効になっている Essbase を使用する際、次のエラーが発生するのは: OLAP サービスに接続できません。Essbase

サーバーに接続できません、Calculation Manager で Essbase ノードを展開した場合です。

- 15997549 -- ルールを検証すると、メモリー不足エラーで Calculation Manager サーバーが応答しなくなることがあります。
- 15999661 -- 関数セレクトは、式の宛先側の関数を表示する必要があります。
- 16042225 -- 固定ループ・コンポーネントを使用するルールで、スクリプト・モードでルールを編集し、グラフィカル・モードに変換すると、固定ループの数を囲むカッコのセットに余分なセットが追加されます。
- 16059401 -- Business Rules からマクロを移行すると、Calculation Manager でテンプレートが作成されます。ルール内でこのテンプレートを使用すると、デフォルト・プロセス・エラーが発生することがあります。
- 16062871 -- Oracle Project Financial Planning アプリケーションで、「事前定義済ルールロード」オプションが表示されないことがあります。

既知の問題

このリリースで注意が必要な既知の問題は次のとおりです:

- 16270104 -- Financial Management Visual Basic スクリプトをグラフィカル・コンポーネントにインポートすると、メソッド GetItemIDs2 が正しくインポートされない場合があります。
- 16268740 -- 「値」列でのメンバー・セレクトを使用した Financial Management メンバー・リストの選択が正しく機能しない場合があります。
- 16172438 -- グラフィカル機能のスクリプトで Financial Management の条件文が正しく変換されない場合があります。
- 15879735 -- Financial Management Visual Basic スクリプトをグラフィカル・コンポーネントにインポートすると、メソッド OpenDataUnit が正しくインポートされない場合があります。
- 14851468 -- Financial Management Visual Basic スクリプトをグラフィカル・コンポーネントにインポートすると、メソッド OpenDataUnitSorted が正しくインポートされない場合があります。
- 14851185 -- Financial Management のメソッド OpenDataUnitSorted が正しく配置されない場合があります。
- 14383744 -- Financial Management スクリプト・オブジェクトを検証しようとすると、検証が失敗する可能性があります。これを回避するには、スクリプト・エディタでフォーマット・ツールを使用して、スクリプト内の余分なスペースや行を削除し、スクリプトを再度検証します。
- 12853084 -- Financial Management クラシック・アプリケーションでは、メンバー・セレクトでメンバーを検索すると、エラー・メッセージが表示される場合があります。
- 12766158 -- Financial Management スクリプト・コンポーネントの使用不可プロパティが機能しない場合があります。

- 11719731 -- Financial Management ビジネス・ルールの配置は、コンポーネント・レベルの条件で使用される関数が定義されている場合、失敗する場合があります。これを回避するには、条件付きコンポーネントを使用します。
- 9964318 -- Calculation Manager で 2 つのビジネス・ルールを作成し、Rule1 と Rule 1 のように、スペースの使用が異なる同じ語をルール名に使用すると、Planning でスペースが保持されずにルールが同じ名前が表示されます。データベースでは、ルール名が正しく表示されます。
- 13729396 -- 同じ次元を使用していない 2 つのアプリケーションでメンバー範囲の値または次元間の変数が使用されると、検証されない場合があります。
- 13602784 -- Flash が Windows 2008 Server R2 (64 ビット)オペレーティング・システムで使用できないため、ルール・デザイナーがこのオペレーティング・システムで動作しない場合があります。
- 9852647 -- ビジネス・ルールで「割当て - レベル間」テンプレートを使用し、割当て次元のオフセット・メンバーを定義し、ビジネス・ルールを保存し、データを割り当てる次元を編集する場合、オフセット・メンバーにビジネス・ルールの編集前に選択した次元が表示されることがあります。
- 9815870 -- スクリプト・モードのビジネス・ルールを使用し、ビジネス・ルールのスクリプトを編集する場合、グラフィカル・モードに戻ると実行された編集内容が保持されないことがあります。生成したコメントに加えた変更(変換ヘルパー・タグ)が認識されないこともあります。
- 9804886 -- Internet Explorer バージョン 8 を使用してスクリプト・モードのビジネス・ルールを作成し、「クリップボードにコピー」オプションを使用してスクリプトからクリップボードにテキストをコピーすると、エラー・メッセージを受け取ることがあります。
- 9801375 -- テンプレート・ウィザードの最初のタブに POV を含むテンプレートを使用している場合に、POV の「アクション」アイコンをクリックすると、画面の左上にメンバー、変数および関数メニューが表示されることがあります。これに対処するには、「アクション」アイコンをクリックする前に[Enter]を押します。
- 9799861 -- 5000 行を超えるスクリプトまたは式コンポーネントのビジネス・ルールを作成し、ルールを保存すると、数分間ブラウザがハングすることがあります。これを回避するには、400 行を超える式コンポーネントまたはスクリプト・コンポーネントがある場合、それぞれの式またはスクリプトが 1 行から 400 行までになるように分割することをお勧めします。
- 9798363 -- スクリプト・モードのビジネス・ルールを使用し、「検索/置換」ダイアログを表示する場合、ダイアログに「検索の折返し」オプションが表示されません。
- 9795243 -- それぞれに IF 条件および一般的なメンバー・ブロックが設定されている 2 つの式コンポーネントのビジネス・ルールを使用する場合、ビジネス・ルールの作成されたスクリプトに 2 つのメンバー・ブロックが含まれることがあります。グラフィカル・モードでは、同じビジネス・ルールに 1 つの(正しい)メンバー・ブロックのみが含まれます。
- 9781874 -- Internet Explorer でスクリプト・モードのビジネス・ルールを使用し、エラーを受け取った場合、エラーを含むスクリプトの行がハイライトさ

れないことがあります。Firefox でスクリプト・モードのビジネス・ルールを使用し、エラーを受け取った場合、エラーを含むスクリプトの行がハイライトされないことがあります。

- 9593061 -- 割当てコンポーネントを使用するビジネス・ルールを作成する場合、ビジネス・ルールを検証および保存し、割当てコンポーネントを編集します。「ソース」タブをクリックし、既存の勘定科目を削除し、「アクション」アイコンをクリックし、勘定科目次元からメンバーを選択しようとする、メンバー・セレクタが開かない場合があります。これに対処するには、既存の勘定科目を削除した後に[Enter]を押します。「アクション」アイコンをクリックし、メンバーを選択すると、メンバー・セレクタが表示されます。
- 9593036 -- 割当てコンポーネントを使用するビジネス・ルールを作成し、ルールを保存および検証し、ルール・デザイナの割当てコンポーネントをダブルクリックする場合、割当てウィザードが開かないことがあります。これに対処するには、「要約」タブの「編集」をクリックします。
- 8866203 -- スクリーン・リーダー・ソフトウェアを使用している場合、ルール・デザイナまたはテンプレート・デザイナを開くと、スクリーン・リーダー・ソフトウェアが 10%、20%などと読み上げてページのロードが進行中であることを示しますが、モジュールが完全にロードされて確認メッセージが表示された後でも同じです。
- 8894789 -- ループ・コンポーネントまたは条件コンポーネントの展開または縮小後にコンポーネントを貼り付けると、"エラー:インデックス:1、サイズ:1"というエラー・メッセージを受け取ることがあります。これを回避するには、[Ctrl]+[Shift]+[E]を使用して、ループまたは条件内のコンポーネントをループまたは条件の最後に移動します。条件の Else 部分でコンポーネントを貼り付けるには、[Ctrl]+[Shift]+[I]を使用します。
- 8860666 -- スクリーン・リーダー・ソフトウェアを使用してスクリプトを読み取るには、スクリプトを代替のテキスト・エディタにコピーする必要があります。
- 13525497 -- スクリプト・モードで、データ範囲ループのある Financial Management のビジネス・ルールを編集していると、グラフィカル・モードで編集に戻ると、データ範囲ループの定義が空になることがあります。
- 12746625 -- このリリースにアップグレードする場合、リリース 11.1.1.4 の Calculation Manager を再起動しないと、ビジネス・ルール・レベルの変数が移行されない場合があります。
- 13086605 -- Calculation Manager でビジネス・ルールのデバッグ中に、他のユーザーが同じアプリケーションで、データ・フォームでの作業、アプリケーションのリフレッシュまたは他の Oracle Essbase 操作を実行しようとする、これらのタスクを実行できないことがあります。たとえば、Oracle Hyperion Calculation Manager で、アプリケーション App1 のデータ・フォームの作業中に、他のユーザーが App1 のビジネス・ルールをデバッグしている場合、データ・フォームを保存できません。
- 13450828、13767552 -- 双方向言語環境で作業している場合、コンポーネント・デザイナで、「式」ドロップダウン・リストに選択項目すべてが表示されないことがあります。

- 13683588 -- ビジネス・ルールまたは関数に Oracle Hyperion Financial Management のメジャーなサブルーチンと同じ名前(たとえば、Allocate、Calculate、Consolidate、Dynamic など)を付けることはできません。
- 9862094 -- 8 時間を超えて作業している場合、セッションの有効期限が切れることがあります。これに対処するには、トークンのタイムアウト設定を変更します。Oracle Hyperion Shared Services の「管理」、「ユーザー・ディレクトリの構成」、「セキュリティ・オプション」を順に選択して、トークンのタイムアウト設定を変更します。

ヒントとトラブルシューティング

- ルール・デザイナーおよびテンプレート・デザイナーを使用するには、Flash Player バージョン 10 以降をインストールする必要があります。
- 分析機能のベスト・プラクティスとして、常に「変更された値のみを追跡」を選択し、「表示するエントリの数を入力します」に 5000 以下の数値を入力します。「表示するエントリの数を入力します」に 5000 を超える値を指定すると、想定される結果と応答時間はサーバーが使用できるメモリーの容量によって異なり、ブラウザおよび分析情報が正しくないか、不完全なことがあります。
- 13604731 -- Business Rules データベースをこのリリースに移行する前に、データベース・テーブルをバックアップまたはエクスポートします。このリリースに移行すると、Business Rules テーブルが削除される可能性があり、それによって、ビジネス・ルールとそのデータが Oracle Hyperion Business Rules から失われる可能性があります。
- 7133648 -- コンポーネントを含むグラフィカルなビジネス・ルールを作成する場合、モードをグラフィカルからスクリプト、スクリプトからグラフィカルに変換できますが、スクリプト・モードでコメントを除去した場合、スクリプトからグラフィカルに変換できないことがあります。

ドキュメントの更新事項

EPM System 製品ドキュメントへのアクセス

各 EPM System 製品ガイドの最新バージョンは、OTN Web サイト(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)の「EPM System Documentation」領域からダウンロードまたは表示できます。EPM System のドキュメント・ポータル(<http://www.oracle.com/us/solutions/ent-performance-bi/technical-information-147174.html>)を使用することもできます。このサイトは、EPM でサポートされているプラットフォームのマトリックス、My Oracle Support およびその他の情報リソースにもリンクしています。

配置関連のドキュメントは、Oracle Software Delivery Cloud Web サイト(http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get_form)からも入手できます。

個々の製品ガイドは、Oracle Technology Network (OTN) Web サイトからのみダウンロードできます。

PDF からのコード・スニペットのコピーと貼付け

PDF ファイルからコード・スニペットを切り取って貼り付ける際、貼付け操作時に一部の文字が失われる場合があります、これによりコード・スニペットが無効になります。この問題を回避するには、HTML バージョンのドキュメントから切り取って貼り付けます。

ドキュメントのフィードバック

製品のドキュメントに対するフィードバックは、次の電子メール・アドレスにお送りください。

EPMdoc_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトで、EPM Information Development をフォローしてください。

- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>
- Google+ - <https://plus.google.com/106915048672979407731>
- Twitter - <https://twitter.com/HyperionEPMInfo>
- Facebook - <https://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>
- Linked In - http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet_ug_hm

アクセシビリティの考慮事項

障害のあるお客様にオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメンテーションをご利用いただくために、Oracle(R) Essbase Spreadsheet Add-in では、アクセシビリティ機能をサポートしています。EPM System 製品は、製品のアクセシビリティ・ガイドに記載されているアクセシビリティの機能をサポートします。このガイドの最新バージョンは、Oracle Technology Network の Oracle Enterprise Performance Management System ドキュメント・ライブラリ (<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>) にあります。

また、この README ファイルは HTML 形式で提供され、アクセシビリティ機能がサポートされます。

著作権情報

Calculation Manager Readme, 11.1.2.3.000

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

Oracle および Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS:

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。